③ネットワーク検知／ネームサービスとは、低電力の間、システムがホストサービス及びネットワーク名の公表を可能にすることをいい、基本能力を含む。

④全対応とは、低電力の間、システムが基本能力、遠隔復帰及びネットワーク検知／ネームサービスに対応することをいう。

表３－２　ノートブックコンピュータのモード別比率

モード	従来型	プロキシ対応型（完全なネットワーク接続性）			
		基本能力	遠隔復帰	サービス検知／ネームサービス	全対応
T_{OFF}	25％	25％	25％	25％	25％
T_{SL}	35％	39％	41％	43％	45％
T_{LI}	10％	８％	７％	６％	５％
T_{SI}	30％	28％	27％	26％	25％

表３－３　電源装置許容値（A）

電源装置	対象機器	負荷条件別最低効率				最低平均効率	電源装置許容値
		10％	20％	50％	100％		
内部電源装置（ＩＰＳ）	デスクトップ	0.81	0.85	0.88	0.85	—	0.015
		0.84	0.87	0.90	0.87	—	0.03
	一体型デスクトップ	0.81	0.85	0.88	0.85	—	0.015
		0.84	0.87	0.90	0.87	—	0.04
外部電源装置（ＥＰＳ）	ノートブック	0.83	—	—	—	0.88	0.015
		0.84	—	—	—	0.89	0.03
	一体型ノートブック	0.83	—	—	—	0.88	0.015
		0.84	—	—	—	0.89	0.04

備考）　平均効率とは、定格出力電流の25％、50％、75％及び100％で試験したときの効率の相加平均をいう。

表３－４　基本許容値（TEC_{BASE}）

区分	グラフィックスの種類	デスクトップ又は一体型デスクトップ		ノートブック	
		性能	基本許容値	性能	基本許容値
0	グラフィックス全て	Ｐ≦３	69.0	Ｐ≦２	14.0
Ｉ１	一体型又は切替可能グラフィックス	３＜Ｐ≦６	112.0	２＜Ｐ≦5.2	22.0
Ｉ２		６＜Ｐ≦７	120.0	5.2＜Ｐ≦８	24.0
Ｉ３		Ｐ＞７	135.0	Ｐ＞８	28.0
Ｄ１	独立型グラフィックス	３＜Ｐ≦９	115.0	２＜Ｐ≦９	16.0
Ｄ２		Ｐ＞９	135.0	Ｐ＞９	18.0

備考）　Ｐの算定方法は、次式による。

Ｐ＝ＣＰＵのコア数×ＣＰＵクロック周波数（GHz）

コア数は物理的なＣＰＵのコア数を表し、ＣＰＵクロック周波数（GHz）は、ＴＤＰの最大周波数を表し、ターボブースト周波数ではない。

表３－５　デスクトップコンピュータ、一体型デスクトップコンピュータ、ノートブックコンピュータ及びシンクライアントにおける独立型グラフィックス許容値（TEC_{GR}）及び追加許容値

許容値区分			デスクトップ	一体型デスクトップ	ノートブック
TEC_{MEM}（kWh）			0.8		
TEC_{GR}（kWh）	Ｇ１	ＦＢ＿ＢＷ≦16	36		14
	Ｇ２	16＜ＦＢ＿ＢＷ≦32	51		20
	Ｇ３	32＜ＦＢ＿ＢＷ≦64	64		26
	Ｇ４	64＜ＦＢ＿ＢＷ≦96	83		32
	Ｇ５	96＜ＦＢ＿ＢＷ≦128	105		42
	Ｇ６	ＦＢ＿ＢＷ＞128 フレームバッファ幅＜192bit	115		48
	Ｇ７	ＦＢ＿ＢＷ＞128 フレームバッファ幅≧192bit	130		60
TEC_{SW}（kWh）			0.5×Ｇ１		適用なし
TEC_{EEE}（kWh）			8.76×0.2×（0.15＋0.35）		8.76×0.2×（0.10＋0.30）
TEC_{ST}（kWh）			26		2.6
TEC_{DIS}（kWh）			適用なし	8.76×0.35×（１＋ＥＰ）×（４×ｒ＋0.05×Ａ）	8.76×0.30×（１＋ＥＰ）×（２×ｒ＋0.02×Ａ）

備考）１　TEC_{GR}は、システムに搭載した独立型グラフィックスに適用するものとする。切替可能なグラフィックスには適用しない。

２　ＦＢ＿ＢＷは、ギガバイト毎秒（ＧＢ／ｓ）によるディスプレイフレームバッファ幅であり、算定方法は、次式による。

ＦＢ＿ＢＷ＝データレート（MHz）×フレームバッファ幅／（８×1000）

３　切替可能グラフィックス（TEC_{SW}）には、独立型グラフィックス許容値（TEC_{GR}）を適用することはできないものとする。ただし、切替可能グラフィックスを提供し、初期設定により独立型グラフィックスを有効にするデスクトップ及び一体型デスクトップコンピュータについては、該当するＧ１グラフィックス許容値の50％に相当する許容値を適用することができる。